



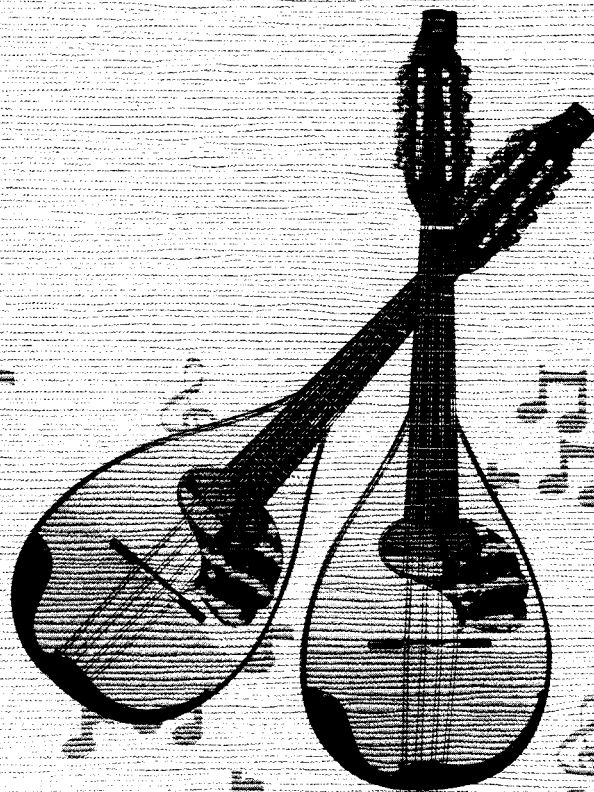
プリランテ・マンドリーノ



かがやきのコンサート 2nd

とき 平成16年1月18日(日)
午後1:30開場 午後2:00開演

ところ 甲府市総合市民会館
芸術ホール



主催：プリランテ・マンドリーノ

後援：山梨県マンドリン音楽連盟・山梨県生涯学習推進センター・甲府市教育委員会
NHK甲府放送局・山梨日日新聞社・山梨放送・テレビ山梨・エフエム甲府
日本ネットワークサービス(株)・エフエム富士(株)

ごあいさつ

ブリランテ・マンドリーノ 代表 常盤由美子

本日は、「かがやきのコンサート」にお越しいただきありがとうございます。

一昨年12月のコンサートで多くの方から、アンケートを通して、沢山の励ましと声援をいただき、本日第2回のコンサートを迎えることとなりました。

昨年は世界中で暗いニュースが多かった年でした。年の初めにあたり、音楽によりふれあいを深め、明るい1年となるよう、皆様からいただいた励ましと声援をお返しできることを本当にうれしく思っております。

今年は、前回のアンケートのご希望におおくあった古賀政男氏の曲を取り入れて昭和の時代を懐かしみ、また、音楽物語「朱雀門」では、しばし皆様を平安の京に誘う(いざなう)など一層楽しんでいただけるよう工夫し、賛助いただいた方々と共に一生懸命取り組んでまいりました。

本日の演奏会の開催に際しましては、部員の家族をはじめ多くの方のご支援・ご厚情をいただき心より感謝申し上げます。

「かがやきのコンサート」最後までごゆっくりお楽しみください。

かがやきの響きに期待して

山梨県マンドリン音楽連盟 会長 堀口 昭

ブリランテ・マンドリーノ かがやきのコンサート2nd! 開催おめでとうございます。

第1回から1年足らずで第2回を・・・そのバイタリティーには敬服いたします。

昨年秋の甲府市民文化祭開幕式アトラクションでの演奏中からのあの声援、次いで市民文化祭のダイナミックな演奏、結成後間もないのに重厚な風格が備わってきたと思います。「女性だけのアンサンブル」とはとても思えません。これからも、感性豊かな河野氏のご指導のもと県マンドリン音楽界の中核としてご活躍されることを期待しております。

さて、今回は「古賀メロディー」を取り上げられ感心いたしました。

「クラシック・オリジナルマンドリン音楽」が日本に渡来し100年にならない昭和初期、そのイメージを根底から覆し大衆のものとしたのが「古賀メロディー」でした。その後歌謡曲、ポピュラー曲等のジャンルにマンドリンを取り入れる傾向が増え一般化されてきただけに、ほんとうに楽しみです。他に、マンドリンオリジナル曲・・・その美しさゆえに有名であったといわれる「舞姫ローラ」。それに音楽物語「朱雀門」で京都の詩情をたっぷり味わいたいと思います。

コンサートのご盛会とご成功を、会員皆様のますますのかがやきと貴マンドリーノのご発展を心より祈念申し上げお祝いのことばといたします。

プログラム

第1部

- ☆ 山嶽詩 M.Salvetti Simone 作曲
- ☆ パラフレーズ「月の砂漠」 石渡 勝 作曲
- ☆ 序曲「ローラ」 H.Giacinto Lavitrano 作曲

第2部

- ☆ 碧空 ヨゼフ・リクスナー 作曲 編曲者不詳
- ☆ 百万本のバラ ライモンド・パウルス 作曲 河野直文 編曲
- ☆ 古賀政男ヒットメドレー 古賀政男 作曲 佐藤克巳／石渡 勝／河野直文 編曲
(丘を越えて・人生の並木路・誰か故郷を想わざる・影を慕いて・東京ラブソティ)
- ☆ クマーナ バークレイ・アレン／ハロルド・スピナ／ロック・ヒルマン 作曲 河野直文 編曲
- ☆ E. T. ジョン・ウィリアムズ 作曲 河野直文 編曲

第3部

- ☆ 音楽物語「朱雀門」 蘭ひさし 脚本 鈴木静一 作曲



曲目の解説

■山嶽詩

作曲者の生地、生年は不明だが、1926年イル・マンドリーノから発表された。

作者の作品の多くは抒情的な色彩が感じられ Andante Sostenuto で始まるこの曲は、雄大なアルプスを描写してから口短調に転調して、教会から澄みきった山々にこだまする賛美歌とともに静かな美しい山の情景をあらわしている。

■パラフレーズ「月の砂漠」

一昨年のかがやきのコンサートと昨年の山梨県マンドリンフェスティバルで演奏し好評をいただいた「パラフレーズ・赤い靴」の作曲者による姉妹曲で、童話「月の砂漠」を主題に作曲されたマンドリンオリジナル曲。

■序曲 ローラ

19世紀、ヨーロッパ各地でその艶名をうたわれた舞姫ローラ・モンティスを讃えて作られた。

全般的に典雅で軽快、随所に現れる Allegro の部分と Andante で、軽快さと憂愁の美しさの対照が十分に生きており、作曲者の安住地アルジェリアの明るく輝く異国情緒豊かな息吹が感じられる。

■碧 空

アルゼンチンタンゴの「ラ・クンパルシータ」と並び称されるコンチネンタル・タンゴの代表作。決然とした力強さとノーブルな旋律は作曲者リクスナーの傑作である。

■百万本のバラ

ロシアのポピュラー歌手アラ・ブガチョワにより世に広まったバラード。

日本では加藤登紀子が歌い有名になった。

■クマーナ

フレディ・マーティン楽団の3人により共作されたアメリカ製ラテンナンバー。

曲名はベネズエラの港町の名前。とにかくアップテンポなリズムにのり華やかで、一度聞いたら耳から離れない。

■E.T.

地球に取り残された小さな宇宙人と少年エリオットとの友情を描いた映画「E.T.」のテーマ。自転車で満月の空を駆けるシーンは印象的であった。

曲は、哀愁を帯びたメロディーから明るいAllegroの曲想へと変わり、弦と管が華やかに絡み合う、作曲者ジョン・ウィリアムズ独特の世界が展開される。

■音楽物語「朱雀門」

応仁の頃の京を舞台とし、京都御所の大手を守ったといわれる「朱雀門」にまつわる怪奇な“鬼”の話を、作曲者がナレーションを入れることを考えて作曲した音楽物語。1969年発表。

この物語のオリジナルは鎌倉時代に書かれたと推定されている「長谷雄草紙」という一巻の絵巻物で、平安初期の著名な文人であった紀長谷雄(きのはせお)を主人公にした怪奇な説話が、詞と絵5段によって描かれたもの。

曲は、①平安の京、②怪しい男、③晩鐘、④渚、⑤双六と鬼、⑥夏の夜、⑦雷雨と渚の消滅、⑧渚、⑨終曲、の副題を付けられた9つの楽章から成り、曲の全般に京都に残る土俗音楽や雅楽のニュアンスが取り入れられ、とりわけ管楽器の雅楽の要素をもった響き、マンドリンとフルートの奏でる優雅な旋律が、京都の詩的な雰囲気、ナレーションのかもしれない出する古典的な雰囲気と不思議なほどマッチした作品となっている。

出 演 者

指 揮	高保 洋子	赤池 真澄	河野 直文 (山梨大MC.OB)
コンサートミストレス	山田 玲子		
1stマンドリン	◎山田 玲子	澤登 温子	内藤 栄子 新藤はる子
	宮川 良美	保坂 俊子	中村きみえ 桑野 佳枝
	阿部美智子	根津きよみ	
2ndマンドリン	◎吉田 直美	山崎江里子	越水 和子 小林 千鶴
	窪田 善枝	星野 久香	中川美智子
マ ン ド ラ	◎小澤 和子	斉藤 純子	藤垣美和子 飯島 典子
	赤池 真澄	高保 洋子	
マンドリュート	◎佐野 禮子		
マンドチェロ	赤池 真澄	河野 直文	
ギ タ ー	◎深沢加代子	常盤由美子	長谷部道子 山本 富子
	松村 敦子	森川 泰子	
コントラバス	◎田中 昭子	粕谷 幸久 (横須賀マンドリンアンサンブル)	
ピ ア ノ	浅川 夕羽		
電子オルガン	千野恵美香		
フ ル ー ト	須田 君子	平本 玲子 (甲府市民吹奏楽団)	
クラリネット	雨宮 孝子	鈴木 真弓 (甲府市民吹奏楽団)	
オ ー ボ エ	藤原 梨江		
ホ ル ン	飯島さゆり (甲府市民吹奏楽団)		
パーカッション	保坂 幸雄	萩原 珠季 (甲府市民吹奏楽団)	
	佐々木謙一 (アンサンブル・パストラール)		
ナ レ ー タ ー	今村 均 (YBS放送劇団)		
司 会	神座 有紀		

2003年活動のあゆみ

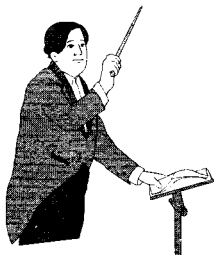
- | | | |
|-----|-----------------------|-----------|
| 2月 | 剣道連盟祝賀会 | アピオ |
| | 冬期合宿 | 石和・かんぼの宿 |
| 3月 | 甲府市一人親家庭等児童小中学校入進学激励会 | 甲府市総合市民会館 |
| | 下石森いきいきサロン | 山梨市下石森公民館 |
| 4月 | 第2回山梨県マンドリンフェスティバル | 県民文化ホール |
| 6月 | 羽黒小PTA音楽鑑賞会 | 羽黒小学校 |
| 8月 | 夏期合宿 | 石和・かんぼの宿 |
| 10月 | 甲府市文化祭開幕式 | 甲府市総合市民会館 |
| 11月 | 甲府市文化祭 | 甲府市総合市民会館 |

丘を越えて

丘を越えて行こうよ 真澄の空は朗らかに
晴れて楽しい心 鳴るは胸の血潮よ
たたえよわが青春（はる）よ
いざ行け 遙か希望の丘を越えて

東京ラブソディ

花咲き花散る宵は 銀座の柳の下で
待つは君一人 君一人
逢えば行くティールーム
楽し都 恋の都 夢のパラダイスよ
花の東京



Brilliant
Mandoline